

# プリンターコマンドリファレンスガイド

# 目次

はじめに	5				
本書の読み方	5				
1. プリンタの動作と制御コマンド	6				
1.1 プリンタの基本動作	6				
2. 制御コマンド	7				
BEL	8	ESC·G	25	ESC·q	42
BS	8	ESC·H	25	ESC·t	42
CAN	9	ESC·J	26	ESC·w	43
CR	9	ESC·K	26	ESC·x	43
DC1	10	ESC·L	27	ESC·0	44
DC2	10	ESC·M	27	ESC·2	44
DC3	11	ESC·N	28	ESC·3	45
DC4	11	ESC·O	29	ESC·4	45
DEL	12	ESC·P	29	ESC·5	46
ESC·!	13	ESC·Q	30	FF	47
ESC·\$	14	ESC·R	30	FS·!	48
ESC·%	14	ESC·S	31	FS·&	49
ESC·&	15	ESC·SI	32	FS·-	49
ESC·*	16	ESC·SO	32	FS·.	50
ESC·-	17	ESC·SP	33	FS·D	50
ESC·/	17	ESC·T	33	FS·DC2	51
ESC·:	18	ESC·U	34	FS·DC4	51
ESC·<	18	ESC·W	34	FS·J	52
ESC·?	19	ESC·Y	35	FS·K	53
ESC·@	20	ESC·Z	35	FS·S	53
ESC·A	20	ESC·¥	36	FS·SI	54
ESC·B	21	ESC·a	37	FS·SO	54
ESC·C	22	ESC·b	38	FS·T	55
ESC·C·null	22	ESC·g	39	FS·U	55
ESC·D	23	ESC·k	39	FS·V	56
ESC·E	23	ESC·l	40	FS·W	56
ESC·EM	24	ESC·p	40	FS·k	57
ESC·F	24	ESC·r	41	FS·r	57

FS・x	58	LF	61	SO	62
FS・2	59	SI	62	VT	63
HT	60				
付録	65				
サンプルプログラム	65				
ANK 文字コード表	70				
プロポーショナルスペース量	72				
用語解説	76				
機能別索引	78				

# はじめに

本書ではプログラミングの経験のある方を対象に、プリンターに関する制御コマンドの使用方法を説明しています。

プリンターの各機能、日常的な使用方法については、プリンターハードウェア取扱説明書をご覧ください。

本制御コマンド使用によるユーザプログラム等の技術支援は行っておりません。

## 本書の読み方

本書は次の構成になっています。

1. プリンターの動作と制御コマンド  
プリンターの基本動作と制御コマンドとの関連について説明します。
2. 制御コマンド  
プリンターを制御するコントロールコマンドについて説明します。

付録

本書を使用するにあたって参考となる資料を添付します。

## ■お願い

---

- ・本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- ・本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

---

### ●輸出管理規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、お問い合わせ先にお問い合わせください。

---

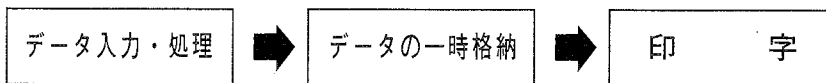
Microsoft® Windows®は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。  
その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

(C)Hitachi, Ltd. 2014. All rights reserved.

# 1. プリンタの動作と制御コマンド

## 1.1 プリンタの基本動作

プリンタには大きく分けて次の3つの動作があります。



### (1)データ入力・処理

パソコンから送られてくるデータを、文字コードとコントロールコードに分けます。

コントロールコードで機能設定や文字コードの編集を行い、印字データにします。

### (2)データの一時格納

印字データを印字指令がくるまで、印字バッファーに一時格納します。

### (3)印字

印字指令で印字バッファーの印字データを印字します。

印字終了したあと、印字バッファーは空になります。

印字指令とは、バッファーフル（印字バッファーが印字データでいっぱい）のときや、コントロールコード（CRなど）が実行されたことをいいます。

## 2. 制御コマンド

プリンタを制御するコントロールコマンドについて説明します。  
各コマンドの見方は次のとおりです。

(1)
(2)

<b>ESC·!</b>	<b>一括設定</b>		
(3)	書式	ESC·! <b>·n</b>	
(4)	コード	10	27·33
		16	1B·21

(5) 印字モードを一括で設定します

本コマンドを実行すると、印字モードを一括で設定します。  
nは印字モードの設定で、各ビットの組み合わせで設定します。  
有効範囲は  $0 \leq n \leq 255$  で、内容は次のとおりです。  
なお、次の表の対応コマンドでも設定できます。

ビット	ビットの値			
	1	対応コマンド	0	対応コマンド
$2^0$	12CPI	ESC·M	10CPI	ESC·P
$2^1$	プロポーショナル設定	ESC·p	プロポーショナル解除	ESC·p
$2^2$	縮小設定	SI	縮小解除	DC2
$2^3$	強調設定	ESC·E	強調解除	ESC·F
$2^4$	二重印字設定	ESC·G	二重印字解除	ESC·H
$2^5$	倍幅拡大設定	ESC·W	倍幅拡大解除	ESC·W
$2^6$	イタリック設定	ESC·4	イタリック解除	ESC·5
$2^7$	アンダーライン設定	ESC·ー	アンダーライン解除	ESC·ー

(6) {

- (1) コントロールコードです。
- (2) 機能名称です。
- (3) 書式です。
- (4) コントロールコードを10進法、16進法で示します。
- (5) 機能説明です。
- (6) 機能の詳細について説明します。

制御コマンドの中には、日本語モードで使用すると、正しく動作しないものがあります。その場合は、パソコン側のプリンタドライバを非変換モード（英語モード）にして、ご使用ください。

BEL ●ブザー

BS ●バックスペース

BEL  
BS

<b>BEL</b>	ブザー	
	書式	BEL
	コード	10 07 16 07

ブザーを鳴らします

本コマンドを実行すると、ブザーを鳴らします。

<b>BS</b>	バックスペース	
	書式	BS
	コード	10 08 16 08

印字開始位置を1文字分左へ移動します

次の印字データの印字開始位置を1文字分左へ移動します。  
移動量は本コマンド実行直前の文字幅に従います。  
左マージンで受信した場合、本コマンドを無視します。

<b>CAN</b>	キャンセル		
	書式	CAN	
	コード	10	24
16		18	

印字バッファの印字データをクリアします

本コマンドより前に入力された印字バッファの印字データをクリアします。  
 本コマンドを実行したあとは、左マージン位置がデータ印字開始位置です。

<b>CR</b>	キャリッジリターン		
	書式	CR	
	コード	10	13
16		0D	

印字バッファの印字データを印字します

本コマンドを実行すると、印字バッファの印字データを印字します。  
 次の印字開始位置は左マージン位置です。  
 メニュー設定モードのオートCRが「CR+LF」の場合、改行（LF）と同じ動作になります。



**DC1****デバイスコントロール1 (受信データ有効)**

書式	DC1	
コード	10	17
	16	11

**受信データを有効にします**

デバイスコントロール3 (DC3) で、プリンタが受信データを無視する非選択状態のときに本コマンドを実行すると、プリンタが受信データを有効にする選択状態になります。

本コマンドは、プリンタが非選択状態のときに有効です。

**DC2****ANK文字の縮小解除**

書式	DC2	
コード	10	18
	16	12

**ANK文字の縮小設定を解除します**

本コマンドを実行すると、ANK文字の縮小設定を解除します。

<b>DC3</b>	デバイスコントロール3 (DC1以外受信データの無効)		
	書式	DC3	
	コード	10	19
16		13	

**受信データを無視します**

本コマンドを実行すると、プリンタが非選択状態となり、デバイスコントロール1 (DC1) 以外のデータを無視します。  
パソコンの機種によっては、無効となる場合があります。

<b>DC4</b>	自動解除付き倍幅拡大解除		
	書式	DC4	
	コード	10	20
16		14	

**自動解除付き倍幅拡大設定を解除します**

本コマンドを実行すると、自動解除付き倍幅拡大設定を解除します。

**DEL****1文字削除**

書式	DEL	
コード	10	127
	16	7F

**印字バッファの最後の文字データを1文字削除します**

本コマンドより前に入力された印字バッファの最後の文字データを1文字削除します。

**ESC!****一括設定**

書式	ESC!·n		
コード	10	27·33	
	16	1B·21	

**印字モードを一括で設定します**

本コマンドを実行すると、印字モードを一括で設定します。

nは印字モードの設定で、各ビットの組み合わせで設定します。

有効範囲は  $0 \leq n \leq 255$  で、内容は次のとおりです。

なお、次の表の対応コマンドでも設定できます。

ビット	ビットの値			
	1	対応コマンド	0	対応コマンド
2 <sup>0</sup>	12CPI	ESC·M	10CPI	ESC·P
2 <sup>1</sup>	プロポーショナル設定	ESC·p	プロポーショナル解除	ESC·p
2 <sup>2</sup>	縮小設定	SI	縮小解除	DC2
2 <sup>3</sup>	強調設定	ESC·E	強調解除	ESC·F
2 <sup>4</sup>	二重印字設定	ESC·G	二重印字解除	ESC·H
2 <sup>5</sup>	倍幅拡大設定	ESC·W	倍幅拡大解除	ESC·W
2 <sup>6</sup>	イタリック設定	ESC·4	イタリック解除	ESC·5
2 <sup>7</sup>	アンダーライン設定	ESC·ー	アンダーライン解除	ESC·ー

ESC·\$●絶対位置指定

ESC·%●ダウンロード文字セットの設定／解除

## ESC·\$

### 絶対位置指定

書式	ESC·\$·n1·n2	
コード	10	27·36
	16	1B·24

#### 印字開始位置を絶対位置で指定します

本コマンドを実行すると、左マージンを基準として、次の印字データの印字開始位置を指定します。

n1、n2は移動先で有効範囲は  $0 \leq (n1+n2 \times 256) \leq 815$  です。移動先は左マージンから  $(n1+n2 \times 256) / 60$  インチの位置です。右マージンを越える指定をした場合、本コマンドを無視します。

## ESC·%

### ダウンロード文字セットの設定／解除

書式	ESC·%·n	
コード	10	27·37
	16	1B·25

#### ダウンロード文字セットの設定、解除を行います

本コマンドを実行するとダウンロード文字セットの設定、解除を行います。

nは設定／解除を示し、内容は次のとおりです。

n	内 容
0	ダウンロード文字セット解除
1	ダウンロード文字セット指定

ダウンロード文字が1文字も登録されていないときに1を指定した場合、本コマンドを無視します。

# ESC・& ダウンロード文字定義

書式	ESC・&・s・n・m・l・w・r・d <sub>1</sub> ・d <sub>2</sub> ……d <sub>x</sub>
コード	10 27・38
	16 1B・26

## ANK文字のダウンロード文字を登録します

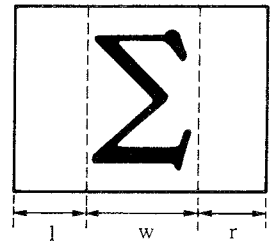
本コマンドを実行すると、ANK文字のダウンロード文字を登録します。  
登録できる範囲は文字コード表中の20H～7FHです。

ESC	&	s	n	m	l	w	r	d <sub>1</sub>	d <sub>2</sub>	……	d <sub>x</sub>
-----	---	---	---	---	---	---	---	----------------	----------------	----	----------------

- s ……ダウンロード文字セット番号 (s = 0)
- n ……登録開始文字コード (20H ≤ n ≤ m ≤ 7FH)
- m ……登録終了文字コード (20H ≤ n ≤ m ≤ 7FH)

1文字登録する場合は、開始と終了の文字コードを同じにしてください。

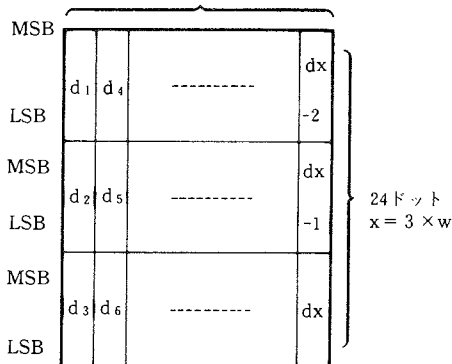
- l ……文字の左スペース
- w ……文字幅
- r ……文字の右スペース
- d<sub>1</sub> ~ d<sub>x</sub> 文字のイメージデータ
- x ……通常文字 3 × w  
スーパー/サブスクリプト 2 × w



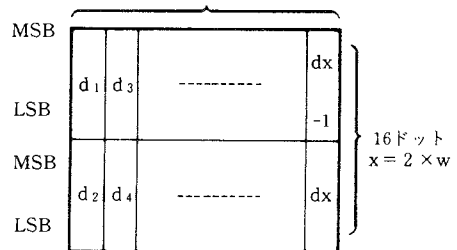
文字セット	l + w + r	w	備考
ドラフト	最大12	最大9	
高品位	最大36	最大29	rは必ず6以上
プロポーションナル	最大42	最大37	

d<sub>1</sub> ~ d<sub>x</sub>は文字パターンのイメージデータで、“1”のビットの位置を印字します。  
d<sub>1</sub> ~ d<sub>x</sub>と文字パターンの対応は次のとおりです。

(通常文字の場合)  
wドット



(スーパー/サブスクリプト文字の場合)  
wドット



ESC

&

**ESC・\*****ビットイメージ選択**

書式 ESC・\*・m・n1・n2・d1・d2 … dx

コード 10 27・42

16 1B・2A

**ビットイメージを印字します**

本コマンドを実行すると、各モードでビットイメージを印字します。

mはモードの選択で、内容は次のとおりです。

m	モード	垂直印字 密度 (dpi)	水平印字 密度 (dpi)	n1+n2×256 の最大値	隣接ドット 可/否
0	8ドット単密度ビットイメージ	60	60	816	可
1	8ドット倍密度ビットイメージ		120	1632	
2	8ドット倍速倍密度ビットイメージ		120	1632	否
3	8ドット4倍密度ビットイメージ		240	3264	
4	8ドットCRTグラフィックス		80	1088	可
6	8ドットCRTグラフィックスII		90	1224	
32	24ドット単密度ビットイメージ	180	60	816	可
33	24ドット倍密度ビットイメージ		120	1632	
38	24ドットCRTグラフィックスII		90	1224	
39	24ドット3倍密度ビットイメージ		180	2448	
40	24ドット6倍密度ビットイメージ		360	4896	否

n1、n2は印字する横方向のドット数の指定で、有効範囲は  $0 \leq n1 \leq 255$ 、 $0 \leq n2 \leq 19$  です。横方向のドット総数は  $n1 + n2 \times 256$  です。

dxはイメージデータを示し、イメージデータの数(x)は次の計算式で求めます。

8ドットビットイメージ…  $x = n1 + n2 \times 256$

24ドットビットイメージ…  $x = (n1 + n2 \times 256) \times 3$

**ESC・-****ANK文字のアンダーライン設定／解除**

書式	ESC・-・n	
コード	10	27・45
	16	1B・2D

ANK文字のアンダーライン設定、解除を行います。

本コマンドを実行すると、ANK文字のアンダーライン設定、解除を行います。

nは設定／解除を示し、内容は次のとおりです。

n	内 容
0	アンダーライン解除
1	アンダーライン設定

次の場合、アンダーラインを印字しません。

- ・拡張グラフィックスコード表のB0H~DFH、F4H、F5H
- ・水平タブ実行をしたときの移動部

**ESC・/****VFUチャンネル選択**

書式	ESC・/・n	
コード	10	27・47
	16	1B・2F

VFUチャンネル選択を行います。

VFUチャンネル選択を行います。

nはチャンネルで、有効範囲は $0 \leq n \leq 7$ です。

選択されたVFUチャンネルは、垂直タブ実行（VT）コマンドを実行するときに参照されます。



**ESC·:****文字セットコピー**

書式	ESC·:·null·n·s	
コード	10	27·58
	16	1B·3A

指定された書体の文字をダウンロード文字セットにコピーします

nで指定したANK文字の書体の文字（20H～7FH）を、ダウンロード文字セット（20H～7FH）にコピーします。

nは書体の選択で、内容は次のとおりです。

n	内 容
0	ローマン
1	サンセリフ
2	クーリエ
3	プレステージ
4	スクリプト
5	OCR-B
6	OCR-A

sはダウンロード文字セット番号で、s=0です。

**ESC·<****リターンホーム**

書式	ESC·<	
コード	10	27·60
	16	1B·3C

印字ヘッドを左端へ戻します

本コマンドを実行すると、印字ヘッドを左端へ戻します。

**ESC·?****ビットイメージ変換**

書式	ESC·?·m·n	
コード	10	27·63
	16	1B·3F

**イメージデータ転送モードを変換します**

本コマンドを実行すると、8ビットイメージ (ESC·K、ESC·L、ESC·Y、ESC·Z) をビットイメージ選択 (ESC·\*) に変換します。

nは8ビットイメージで、K (48H)、L (4CH)、Y (59H)、Z (5AH) のいずれかを指定します。

mは変換するビットイメージで、内容は次のとおりです。

m	モード
0	8ドット単密度ビットイメージ
1	8ドット倍密度ビットイメージ
2	8ドット倍速倍密度ビットイメージ
3	8ドット4倍密度ビットイメージ
4	8ドットCRTグラフィックス
6	8ドットCRTグラフィックスII
32	24ドット単密度ビットイメージ
33	24ドット倍密度ビットイメージ
38	24ドットCRTグラフィックスII
39	24ドット3倍密度ビットイメージ
40	24ドット6倍密度ビットイメージ

電源を入れたときや、初期化 (ESC·@) を実行したときは、次のとおりです。

ESC·K	=ESC·*·0
ESC·L	=ESC·*·1
ESC·Y	=ESC·*·2
ESC·Z	=ESC·*·3

**ESC·@****初期化**

書式	ESC·@	
コード	10	27·64
	16	1B·40

**初期状態にします**

本コマンドを実行すると、印字バッファの印字データをクリアし、プリンタの設定を初期状態にします。

**ESC·A****n / 60インチ改行量設定**

書式	ESC·A·n	
コード	10	27·65
	16	1B·41

**改行量を1/60インチ (0.423mm) 単位で設定します**

本コマンドを実行すると、1改行の改行量を1/60インチ (0.423mm) のn倍に設定します。

nは改行単位の倍数で、有効範囲は  $0 \leq n \leq 85$  です。

# ESC・B

## 垂直タブ位置設定

書式	ESC・B・n1・n2……nx・null	
コード	10	27・66
	16	1B・42

### VFUチャネル0への垂直タブ位置を設定します

次のフォーマットで垂直タブ位置を設定します。

ESC	B	n1	n2	……	nx	null
-----	---	----	----	----	----	------

n1・n2……nxは垂直タブ位置の印字開始位置からの改行数で、最大16箇所(x ≤ 16)のタブ位置が指定できます。

nx = 1 ~ 255 (01H ~ FFH)

ESC・B・nullを実行すると、設定されている垂直タブ位置をクリアします。

nの指定は、小さい改行数（同一位置は指定できません）から順に指定してください。

誤って指定した場合、その時点でコマンドを終了します。

垂直タブ位置設定後に改行量を変更しても、垂直タブ位置は変わりません。

電源を入れたときや、初期化を実行したときは、垂直タブ位置は設定されていません。

**ESC·C****行単位ページ長設定**

書式	ESC·C·n	
コード	10	27·67
	16	1B·43

**ページ長を行単位で設定します**

本コマンド実行時の改行量で、n行数分のページ長に設定します。

nは改行数で、 $0 \leq n \leq 127$ の範囲内で指定します。

新しいページ長が設定された場合、受信した行が用紙の先頭行となり、ミシン目スキップ（メニューによる設定も含む）をクリアします。

ページ長設定後に改行量を変更しても、ページ長は変わりません。

電源を入れたときや、初期化を実行したときは、メニューの設定に従います。

**ESC·C·null****インチ単位ページ長設定**

書式	ESC·C·null·n	
コード	10	27·67·00
	16	1B·43·00

**ページ長をインチ単位で設定します**

nインチのページ長に設定します。

nは1ページのインチ数で、 $1 \leq n \leq 22$ の範囲内で指定します。

新しいページ長が設定された場合、受信した行が用紙の先頭行となり、ミシン目スキップ（メニューによる設定も含む）をクリアします。

ページ長設定後に改行量を変更しても、ページ長は変わりません。

電源を入れたときや、初期化を実行したときは、メニューの設定に従います。

**ESC・D****水平タブ位置設定**

書式	ESC・D・n1・n2……nx・null	
コード	10	27・68
	16	1B・44

**水平タブ位置を設定します**

本コマンドを実行すると、次のフォーマットで、水平タブ位置を設定します。

ESC	D	n1	n2	……	nx	null
-----	---	----	----	----	----	------

n1・n2……nxは左マージンからの水平タブ位置の文字数で、有効範囲は $1 \leq n_x \leq 255$ です。

水平タブ位置は最大32箇所 ( $1 \leq x \leq 32$ ) まで指定できます。

プロポーションアルを指定したときは、通常では10cpiとして、設定します。

nxの指定は、小さいタブ位置（同一位置は指定できません）から順に指定してください。誤って指定した場合、その時点でコマンドを終了します。

ESC・D・nullを実行した場合は、設定されている水平タブ位置をクリアします。

水平タブ位置を設定したあとに文字幅を変更しても、左マージンからの距離は変わりません。

**ESC・E****強調設定**

書式	ESC・E	
コード	10	27・69
	16	1B・45

**文字の強調印字を設定します**

本コマンドを実行すると、このあとの文字(ANK文字、漢字)を強調印字します。

**ESC·EM****オートシートフィーダ制御**

書式	ESC·EM·n	
コード	10	27·25
	16	1B·19

**オートシートフィーダの制御を行います**

本コマンドを実行すると、オートシートフィーダの制御を行います。

nはモードの切り替えで、内容は次のとおりです。

n	内容
52H	単票排出

n=52Hは、自動給紙モードが設定されているとき有効です。

ASF未装着の場合、本コマンドを無視します。

**ESC·F****強調解除**

書式	ESC·F	
コード	10	27·70
	16	1B·46

**強調設定を解除します**

本コマンドを実行すると、強調設定を解除します。

一括設定(ESC·!)での強調設定も解除します。

**ESC・G****二重印字設定**

書式	ESC・G	
コード	10	27・71
	16	1B・47

**文字の二重印字を設定します**

本コマンドを実行すると、このあとの文字（ANK文字、漢字）を二重印字します。

**ESC・H****二重印字解除**

書式	ESC・H	
コード	10	27・72
	16	1B・48

**二重印字を解除します**

本コマンドを実行すると、二重印字設定を解除します。  
一括設定（ESC・!）での二重印字設定も、解除します。



**ESC·J****n / 180インチ順方向紙送り**

書式	ESC·J·n	
コード	10	27·74
	16	1B·4A

1/180インチのn倍の紙送りを行います

本コマンドを実行すると、印字バッファの印字データを印字し、1/180インチ (0.141mm) のn倍の紙送り (キヤリッジリターン動作は伴いません) を行います。

nは1/180インチ単位 (0.141mm) の紙送り量で、有効範囲は  $0 \leq n \leq 255$  です。

**ESC·K****8ドット単密度ビットイメージ**

書式	ESC·K·n1·n2·d1·d2·····dx	
コード	10	27·75
	16	1B·4B

8ドット単密度ビットイメージを印字します

本コマンドを実行すると、8ドット単密度ビットイメージを印字します。

n1·n2は印字する横方向のドット数の指定で、有効範囲は  $0 \leq n1 \leq 255$ 、 $0 \leq n2 \leq 3$  です。

横方向のドット総数は、 $n1 + n2 \times 256$  です。

ビットイメージ選択 (ESC·\*) でも、モードを選択すると、同じ印字が行えます。

**ESC·L****8ドット倍密度ビットイメージ**

書式	ESC·L·n1·n2	
コード	10	27·76
	16	1B·4C

8ドット倍密度ビットイメージを印字します

本コマンドを実行すると、8ドット倍密度ビットイメージを印字します。

n1・n2は印字する横方向のドット数の指定で、有効範囲は  $0 \leq n1 \leq 255$ 、 $0 \leq n2 \leq 6$  です。

横方向のドット総数は  $n1 + n2 \times 256$  です。

ビットイメージ選択 (ESC·\*) でも、モードを選択すると、同じ印字が行えます。

**ESC·M****ANK文字の12cpi設定**

書式	ESC·M	
コード	10	27·77
	16	1B·4D

ANK文字を12cpiで印字します

本コマンドを実行すると、このあとのANK文字を12cpiで印字します。

**ESC·N****ミシン目スキップ設定**

書式	ESC·N·n	
コード	10	27·78
	16	1B·4E

**ミシン目スキップを設定します**

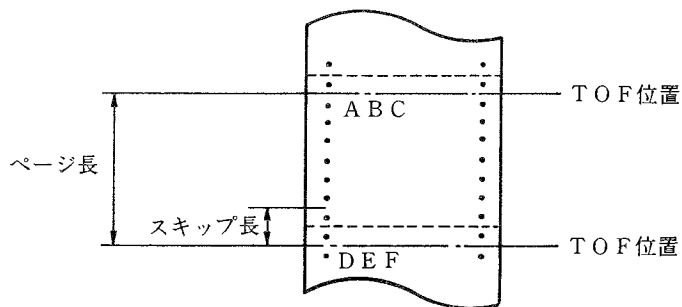
## (1)ASFなしの場合

本コマンド実行時の改行量を単位としてページ下端からn行数分のミシン目スキップ（非印字領域）を設定します。

nはスキップ長の改行数で、有効範囲は $1 \leq n \leq 127$ です。

ミシン目スキップ設定後に改行量を変更しても、ミシン目スキップ領域は変わりません。

電源を入れたときや、初期化を実行したときは、メニューの設定に従います。



## (2)ASF自動給紙モードの場合

本コマンドを無視します。

## (3)ASF手差しモードの場合

ASFなしの場合と同様です。

**ESC・O****ミシン目スキップ解除**

書式	ESC・O	
コード	10	27・79
	16	1B・4F

ミシン目スキップを解除します

本コマンドを実行すると、ミシン目スキップを解除します。

**ESC・P****ANK文字の10cpi設定**

書式	ESC・P	
コード	10	27・80
	16	1B・50

ANK文字を10cpiで印字します

本コマンドを実行すると、このあとのANK文字を10cpiで印字します。  
電源を入れたときや、初期化を実行したときは、本設定になります。

**ESC·Q****右マージン設定**

書式	ESC·Q·n		
コード	10	27·81	
	16	1B·51	

**右マージンを設定します**

ホームポジション（メカの左マージン）を基準として右マージンを設定します。

nは右マージン位置で、単位は本コマンドを実行したときの文字幅に従い  $1 \leq n \leq 255$  の範囲内で指定します。

プロポーショナルが指定されている場合は、10cpiの文字幅で指定します。

**ESC·R****ANK文字の国際文字選択**

書式	ESC·R·n		
コード	10	27·82	
	16	1B·52	

**ANK文字の国際文字の文字セットを選択します**

ANK文字の国際文字の文字セットを選択します。

nは国際文字の文字セットで、内容は次のとおりです。

コード（16進）		23H	24H	40H	5BH	5CH	5DH	5EH	60H	7BH	7CH	7DH	7EH
n	国												
0	U S A	#	\$	@	[	\	]	^	~	{		}	~
1	フランス	#	\$	à	°	ç	§	^	~	é	ù	è	''
2	ドイツ	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	~	ä	ö	ü	ß
3	イギリス	£	\$	@	[	\	]	^	~	{		}	~
4	デンマーク	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	~	æ	ø	å	~
5	スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
6	イタリア	#	\$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
7	スペイン	℞	\$	@	ı	Ñ	¿	^	~	''	ñ	}	~
8	日本	#	\$	@	[	¥	]	^	~	{		}	~
9	ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
10	デンマーク	#	\$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
11	スペイン	#	\$	á	ı	Ñ	¿	é	~	í	ñ	ó	ú
12	ラテンアメリカ	#	\$	á	ı	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

**ESC・S****ANK文字のスーパー/サブスクリプト設定**

書式	ESC・S・n	
コード	10	27・83
	16	1B・53

**ANK文字のスーパー/サブスクリプトを設定します**

本コマンドを実行すると、ANK文字のスーパー/サブスクリプトを設定します。

nはスーパー/サブスクリプト文字の設定で、内容は次のとおりです。

n	内 容
00H	スーパースクリプト
01H	サブスクリプト

カタカナコード表を選択している場合、80H~FFHは未定義コードとして無視します。

**ESC·SI****ANK文字の縮小設定**

書式	ESC·SI	
コード	10	27·15
	16	1B·0F

**ANK文字の縮小設定を行います**

本コマンドを実行すると、このあとのANK文字を縮小印字します。

10cpi時は17.1cpi、12cpi時は20cpi、プロポーショナル指定時は1/2の文字幅で印字します。

15cpi時では、本コマンドを無視します。

**ESC·SO****自動解除付き倍幅拡大設定**

書式	ESC·SO	
コード	10	27·14
	16	1B·0E

**自動解除付き倍幅拡大設定を行います**

本コマンドを実行すると、このあとの文字（ANK文字、漢字）を倍幅拡大して印字します。

本コマンドは、次のコマンドの実行、または改行動作によって解除されます。

- ・自動解除付き倍幅拡大解除（DC4、FS·DC4）コマンド
- ・倍幅拡大解除（ESC·W·0）コマンド

## ESC・SP

### ANK文字の文字間スペース量設定

書式	ESC・SP・n	
コード	10	27・32
	16	1B・20

#### ANK文字の文字間スペース量を設定します

本コマンドを実行すると、ANK文字の文字間スペース量をドット単位で設定します。

nはスペース量のドット数で、有効範囲は $0 \leq n \leq 127$ です。

電源を入れたときや、初期化を実行したときは、文字間のスペースはありません。

縮小指定や倍幅拡大の設定のときも、本コマンドは有効です。

倍幅拡大設定のときは、文字間のスペース量がnの2倍になります。

## ESC・T

### ANK文字のスーパー／サブスクリプト解除

書式	ESC・T	
コード	10	27・84
	16	1B・54

#### ANK文字のスーパー／サブスクリプト設定を解除します

本コマンドを実行すると、ANK文字のスーパー／サブスクリプト設定を解除します。



**ESC·U****片方向印字設定／解除**

書式	ESC·U·n	
コード	10	27·85
	16	1B·55

**片方向印字設定、解除を行います**

本コマンドを実行すると、片方向印字設定、解除を行います。

nは設定／解除を示し、内容は次のとおりです。

n	内 容
0	片方向印字解除（両方向印字設定）
1	片方向印字設定

**ESC·W****倍幅拡大設定／解除**

書式	ESC·W·n	
コード	10	27·87
	16	1B·57

**倍幅拡大設定、解除を行います**

本コマンドを実行すると、文字（ANK文字、漢字）の倍幅拡大設定、解除を行います。

nは設定／解除を示し、内容は次のとおりです。

n	内 容
0	倍幅拡大解除
1	倍幅拡大設定

**ESC·Y****8ドット倍速倍密度ビットイメージ**

書式	ESC·Y·n1·n2	
コード	10	27·89
	16	1B·59

**8ドット倍速倍密度ビットイメージを印字します**

本コマンドを実行すると、8ドット倍速倍密度ビットイメージを印字します。

n1·n2は印字する横方向のドット数の指定で、有効範囲は  $0 \leq n1 \leq 255$ 、 $0 \leq n2 \leq 6$  です。

横方向のドット総数は  $n1 + n2 \times 256$  です。

ビットイメージ選択 (ESC·\*) でも、モードを選択すると、同じ印字が行えます。

**ESC·Z****8ドット4倍密度ビットイメージ**

書式	ESC·Z·n1·n2	
コード	10	27·90
	16	1B·5A

**8ドット4倍密度ビットイメージを印字します**

本コマンドを実行すると、8ドット4倍密度ビットイメージを印字します。

n1·n2は印字する横方向のドット数の指定で、有効範囲は  $0 \leq n1 \leq 255$ 、 $0 \leq n2 \leq 12$  です。

横方向のドット総数は  $n1 + n2 \times 256$  です。

ビットイメージ選択 (ESC·\*) でも、モードを選択すると、同じ印字が行えます。



**ESC·a****位置そろえ選択**

書式	ESC·a·n	
コード	10	27·97
	16	1B·61

**印字位置そろえを選択します**

本コマンドを実行すると、印字位置そろえを行います。行の先頭で実行し、改行する選択方法は次のとおりです。

n = 0	□□□□□	左寄せ
n = 1	□□□□□	中央寄せ
n = 2	□□□□□	右寄せ
n = 3	□ □ □ □ □ □	両端そろえ
	↑                    ↑	
	左マージン                    右マージン	

n = 1 ~ 3 で行内にビットイメージがある場合、印字結果は保証されません。  
また、BS、DELを位置そろえ (ESC·a) と一緒に使用した場合、印字結果は保証されません。

両端そろえ (n = 3) を選択しても次のような場合は両端そろえが行われません。

- ・印字データが少なすぎる場合
- ・単語間のスペースがない場合

**ESC·b****VFUタブ位置設定**

書式	ESC·b·m·n1·n2·····nx·null	
コード	10	27·98
	16	1B·62

**VFUのチャンネルmに、垂直タブ位置設定を行います**

本コマンドを実行すると、VFUのチャンネルmに、垂直タブ位置設定を行います。  
次のフォーマットで設定します。

ESC	b	m	n1	n2	·····	nx	null
-----	---	---	----	----	-------	----	------

mはチャンネル番号で、有効範囲は $00H \leq m \leq 07H$ です。

n1·n2·····nxは垂直タブ位置の印字開始位置からの改行数で、有効範囲は $1 \leq nx \leq 255$ 、 $1 \leq x \leq 16$ です。

ESC·b·m·nullを実行すると、チャンネルmに設定されていた垂直タブをすべてクリアします。

nの指定は、小さいタブ位置から（同一位置は指定できません）順に指定してください。誤って指定した場合、その時点でコマンドを終了します。

垂直タブ位置設定後に改行量を変更しても、垂直タブは変わりません。

電源を入れたときや、初期化を実行したときは、垂直タブ位置が設定されていません。

**ESC·g****ANK文字の15cpi設定**

書式	ESC·g	
コード	10	27·103
	16	1B·67

**ANK文字を15cpiで印字します**

本コマンドを実行すると、ANK文字を15cpiで印字します。

本設定のときに、カタカナコード表を選択すると、80H~FFHを無視します。

**ESC·k****ANK文字の書体選択**

書式	ESC·k	
コード	10	27·107
	16	1B·6B

**ANK文字の高品位書体を選択します**

本コマンドを実行すると、ANK文字の高品位書体を選択します。

nは書体で、内容は次のとおりです。

n	内 容
0	ローマン
1	サンセリフ
2	クーリエ
3	プレステージ
4	スクリプト
5	OCR-B
6	OCR-A

プリンタの種類によっては、使用できない書体があります。

プリンタのマニュアルでご確認ください。

**ESC・I****左マージン設定**

書式	ESC・I・n	
コード	10	27・108
	16	1B・6C

**左マージンを設定します**

本コマンドを実行すると、ホームポジション（メカの左マージン）を基準として左マージンを設定します。

nは左マージン位置で、単位は本設定を実行したときの文字幅に従います。有効範囲は  $1 \leq n \leq 255$  です。

プロポーショナルが指定されている場合は、10cpiの文字幅で指定します。

ホームポジションから8インチを越える設定は無視します。

**ESC・p****ANK文字のプロポーショナル設定／解除**

書式	ESC・p・n	
コード	10	27・112
	16	1B・70

**ANK文字のプロポーショナル設定、解除を行います**

本コマンドを実行すると、ANK文字のプロポーショナル設定、解除を行います。

nは設定／解除を示し、内容は次のとおりです。

n	内 容
0	プロポーショナル解除
1	プロポーショナル設定

プロポーショナル設定のときに、カタカナコード表を選択すると、80H～FFHを無視します。

**ESC·r****カラー選択**

書式	ESC·r·n	
コード	10	27·114
	16	1B·72

**印字する色を選択します**

本コマンドを実行すると、印字する色を選択します。

nは印字色の選択で、内容は次のとおりです。

n	色
0	黒
1	マゼンタ
2	シアン
3	青紫
4	黄
5	赤
6	緑

電源を入れたときや、初期化を実行したときは、印字色は黒になります。

プリンタがカラー印字できる場合に有効です。



**ESC·q****文字スタイル選択**

書式	ESC·q·n	
コード	10	27·113
	16	1B·71

**ANK文字や漢字の文字スタイルを選択します**

本コマンドを実行すると、ANK文字や漢字の文字スタイルを選択します。

nは文字スタイルの選択で、内容は次のとおりです。

n	内 容
0	文字スタイル解除
1	袋文字選択
2	影文字選択
3	影付き袋文字選択

拡張グラフィックスコード表を選択すると、B0H~DFH、F4H~F5Hは通常の文字を印字します。

**ESC·t****ANK文字の文字コード表選択**

書式	ESC·t·n	
コード	10	27·116
	16	1B·74

**ANK文字の文字コード表を選択します**

本コマンドを実行すると、ANK文字の文字コード表を選択します。

nは文字コード表で、内容は次のとおりです。

n	内 容
1	拡張グラフィックスコード表選択
3	カタカナコード表選択

電源を入れたときや、初期化を実行したときは、メニューの設定に従います。

**ESC・w****ANK文字の縦倍拡大設定／解除**

書式	ESC・w・n	
コード	10	27・119
	16	1B・77

ANK文字の縦倍拡大の設定、解除を行います

本コマンドを実行すると、ANK文字の縦倍拡大の設定、解除を行います。

nは設定／解除を示し、内容は次のとおりです。

n	内 容
0	縦倍拡大解除
1	縦倍拡大設定

**ESC・x****ANK文字の文字品位選択**

書式	ESC・x・n	
コード	10	27・120
	16	1B・78

ANK文字の文字品位を選択します

本コマンドを実行すると、ANK文字の文字品位を選択します。

nは文字品位の選択で内容は次のとおりです。

n	内 容
0	ドラフト選択
1	高品位選択

**ESC·0****1/8インチ改行量設定**

書式	ESC·0	
コード	10	27·48
	16	1B·30

改行量を1/8インチに設定します

本コマンドを実行すると、改行量を1/8インチ（3.175mm）に設定します。

**ESC·2****1/6インチ改行量設定**

書式	ESC·2	
コード	10	27·50
	16	1B·32

改行量を1/6インチに設定します

本コマンドを実行すると、改行量を1/6インチ（4.233mm）に設定します。  
電源を入れたときや、初期化を実行したときの改行量は、1/6インチ（4.233mm）です。

**ESC·3****n/180インチ改行量設定**

書式	ESC·3·n	
コード	10	27·51
	16	1B·33

改行量を1/180インチ単位で設定します

本コマンドを実行すると、改行量を1/180インチ（0.141mm）のn倍に設定します。

nは1/180インチ単位の改行量の設定で、 $0 \leq n \leq 255$ の範囲内で指定します。

**ESC·4****イタリック設定**

書式	ESC·4	
コード	10	27·52
	16	1B·34

文字のイタリックを設定します

本コマンドを実行すると、文字（ANK文字、漢字）をイタリックで印字します。  
漢字の縦書き設定時は、イタリックで印字されません。

**ESC・5****イタリック解除**

書式	ESC・5	
コード	10	27・53
	16	1B・35

文字のイタリックを解除します

本コマンドを実行すると、イタリック設定を解除します  
一括設定 (ESC!) によるイタリック設定も解除します。

<b>FF</b>	<b>フォームフィード</b>	
	書式	FF
	コード	10 12
16 0C		

FF

**改ページを行います**

(1)ASFなしの場合

印字バッファの印字データを印字し、次のページの第1行目印字位置（印字開始位置）まで改行を行います。

印字開始位置で本コマンドを受信した場合も、実行されます。

次の印字開始位置は左マージン位置です。

(2)ASF自動給紙モードの場合

印字バッファの印字データを印字し、用紙を排出します。

用紙が未給紙状態で、印字バッファに印字データがない場合は、本コマンドを無視します。

**FS!****漢字一括設定**

書式	FS!・n	
コード	10	28・33
	16	1C・21

**印字モードを一括して設定します**

本コマンドを実行すると、印字モードを一括して設定します。

nは印字モードの設定で、各ビットの組み合わせで指定します。有効範囲は  $0 \leq n \leq 255$  で、印字モードとビットの対応は次のとおりです。

なお、次の表の対応コマンドでも設定できます。

ビット	ビットの値			
	1	対応コマンド	0	対応コマンド
0	漢字縦書き設定	FS・J	漢字横書き設定	FS・K
1	漢字半角文字設定	FS・SI	漢字半角文字解除	FS・DC2
2	漢字倍幅拡大設定	ESC・W	漢字倍幅拡大解除	ESC・W
3	漢字縦倍拡大設定	——	漢字縦倍拡大解除	——
4	漢字1/4角文字設定	FS・r	漢字1/4角文字解除	FS・DC2
5	漢字1/4角文字下付き設定	FS・r	漢字1/4角文字上付き設定	FS・r
6	未 使 用			
7	漢字アンダーライン設定	FS・—	漢字アンダーライン解除	FS・—

**FS・&****漢字モード設定**

書式	FS・&	
コード	10	28・38
	16	1C・26

**漢字モードを設定します**

本コマンドを実行すると、漢字モードを設定します。

漢字モードでは、2バイトでひとつの文字を表す漢字コードとして処理します。

**FS・-****漢字アンダーライン設定／解除**

書式	FS・-・n	
コード	10	28・45
	16	1C・2D

**漢字のアンダーラインの設定、解除を行います**

本コマンドを実行すると、漢字のアンダーラインの設定、解除を行います。

nはアンダーラインの設定／解除を示し、内容は次のとおりです。

n	内 容
0	漢字アンダーライン解除
1	漢字アンダーライン設定（細線1ドット）
2	漢字アンダーライン設定（太線2ドット）

漢字の縦書き設定時は、文字の上側にラインがつけられます。



**FS・****漢字モード解除**

書式	FS・	
コード	10	28・46
	16	1C・2E

**漢字モードを解除します**

本コマンドを実行すると、漢字モードを解除します。漢字モードを解除したあとはANK文字モードになります。

**FS-D****半角縦書き2文字指定**

書式	FS-D・d11・d12・d21・d22	
コード	10	28・68
	16	1C・44

**漢字の半角縦書き2文字を指定します**

本コマンドを実行すると、漢字縦書き設定時に、2つの半角文字を全角文字幅に印字します。

d1は下側の文字を、d2は上側の文字を示し、本コマンドは使用するたびに実行してください。

**FS-DC2****漢字の半角文字解除**

書式	FS-DC2	
コード	10	28・18
	16	1C・12

**漢字の半角文字を解除します**

本コマンドを実行すると、漢字の半角文字設定を解除します。漢字1/4角文字設定も解除します。

**FS-DC4****自動解除付き倍幅拡大解除**

書式	FS-DC4	
コード	10	28・20
	16	1C・14

**自動解除付き倍幅拡大を解除します**

本コマンドを実行すると、自動解除付き倍幅拡大設定を解除します。

# FS・J

## 漢字の縦書き設定

書式	FS・J	
コード	10	28・74
	16	1C・4A

### 漢字の縦書きを設定します

本コマンドを実行すると、漢字の縦書きを設定し、このあとの漢字データを反時計方向に90°回転させて印字します。

次の漢字の横書き設定 (FS・K) を入力するまで続きます。

次の漢字は縦書き禁止文字のため、縦書きにならず横書きで印字します。

2131 <sub>H</sub> —	2132 <sub>H</sub> —	213D <sub>H</sub> —	213E <sub>H</sub> —	2142 <sub>H</sub> 	2143 <sub>H</sub> 	2144 <sub>H</sub> …	2145 <sub>H</sub> ..
214A <sub>H</sub> (	214B <sub>H</sub> )	214C <sub>H</sub> [	214D <sub>H</sub> ]	214E <sub>H</sub> [	214F <sub>H</sub> ]	2150 <sub>H</sub> 	2151 <sub>H</sub> 
2152 <sub>H</sub> <	2153 <sub>H</sub> >	2154 <sub>H</sub> 《	2155 <sub>H</sub> 》	2156 <sub>H</sub> 「	2157 <sub>H</sub> 」	2158 <sub>H</sub> 『	2159 <sub>H</sub> 』
215A <sub>H</sub> 【	215B <sub>H</sub> 】	2161 <sub>H</sub> =					

次の漢字は、縦書き専用文字です。

2122 <sub>H</sub> ,	2123 <sub>H</sub> 。	213C <sub>H</sub> —	2141 <sub>H</sub> ~	2421 <sub>H</sub> 々	2423 <sub>H</sub> レ	2425 <sub>H</sub> フ	2427 <sub>H</sub> 々
2429 <sub>H</sub> 々	2443 <sub>H</sub> レ	2463 <sub>H</sub> 々	2465 <sub>H</sub> 々	2467 <sub>H</sub> 々	246E <sub>H</sub> レ	2521 <sub>H</sub> フ	2523 <sub>H</sub> レ
2563 <sub>H</sub> 々	2565 <sub>H</sub> レ	2567 <sub>H</sub> レ	256E <sub>H</sub> レ	2575 <sub>H</sub> 々	2576 <sub>H</sub> 々	2525 <sub>H</sub> フ	2527 <sub>H</sub> レ
2529 <sub>H</sub> 々	2543 <sub>H</sub> レ	2D40 <sub>H</sub> レ	2D41 <sub>H</sub> レ	2D42 <sub>H</sub> レ	2D43 <sub>H</sub> レ	2D44 <sub>H</sub> レ	2D45 <sub>H</sub> レ
2D46 <sub>H</sub> レ	2D47 <sub>H</sub> レ	2D48 <sub>H</sub> レ	2D49 <sub>H</sub> レ	2D4A <sub>H</sub> レ	2D4B <sub>H</sub> レ	2D4C <sub>H</sub> レ	2D4D <sub>H</sub> レ
2D4E <sub>H</sub> レ	2D4F <sub>H</sub> レ	2D60 <sub>H</sub> レ	2D61 <sub>H</sub> レ				

**FS·K****漢字の横書き設定**

書式	FS·K	
コード	10	28・75
	16	1C・4B

**漢字の横書きを設定します**

本コマンドを実行すると、このあとの漢字を横書きにします。

次に漢字の縦書き設定 (FS·J) を入力するまで続きます。

電源を入れたときや、初期化を実行したときは、漢字の横書き設定です。

**FS·S****漢字の全角文字スペース量設定**

書式	FS·S·n1·n2	
コード	10	28・83
	16	1C・53

**漢字の全角文字間スペースを設定します**

本コマンドを実行すると、漢字の全角文字間スペースをドット数で設定します。

n1、n2には次の値を設定します。

n1…全角文字の左スペースのドット数を指定します。0 ≤ n1 ≤ 127。

n2…全角文字の右スペースのドット数を指定します。0 ≤ n2 ≤ 127。

1ドットの単位は180dpiです。

倍幅拡大設定時または4倍指定時はnの2倍のドット数です。

漢字縦書き設定時の漢字の半角文字も同じです。

電源を入れたときや、初期化を実行したときは、左：0ドット (n1=0)、右：3ドット (n2=3) です。

**FS·SI****漢字の半角文字設定**

書式	FS·SI	
コード	10	28·15
	16	1C·0F

**漢字の半角文字を設定します**

本コマンドを実行すると、漢字の半角文字を設定します。

外字は左半分だけ印字され、右半分は印字されません。

漢字の1/4角設定時に本コマンドを実行した場合、1/4角文字設定を解除します。

**FS·SO****自動解除付き倍幅拡大設定**

書式	FS·SO	
コード	10	28·14
	16	1C·0E

**自動解除付き倍幅拡大設定を行います**

本コマンドを実行すると、このあとの文字（ANK文字、漢字）を倍幅拡大して印字します。

本コマンドは、次のコマンドの実行、または改行動作によって解除されます。

- ・自動解除付き倍幅拡大解除（DC4、FS·DC4）コマンド
- ・倍幅拡大解除（ESC·W·O）コマンド

**FS・T****漢字の半角文字スペース量設定**

書式	FS・T・n1・n2	
コード	10	28・84
	16	1C・54

**漢字の半角文字間スペース量を設定します**

本コマンドを実行すると、漢字の半角文字間スペース量をドット数で設定します。

n1、n2には次の値を設定します。

n1…半角文字の左スペースのドット数を指定します。  $0 \leq n1 \leq 127$ 。

n2…半角文字の右スペースのドット数を指定します。  $0 \leq n2 \leq 127$ 。

ドットの単位は180dpiです。

漢字の1/4角文字も同じ設定方法です。

電源を入れたときや、初期化を実行したときは、左：0ドット（n1=0）、右：2ドット（n2=2）です。

**FS・U****漢字の半角文字スペース量補正**

書式	FS・U	
コード	10	28・85
	16	1C・55

**漢字の半角文字スペース量を補正します**

本コマンドを実行すると、半角文字2文字ごとに1ドットのスペースを加えます。

**FS·V****漢字の半角文字スペース量補正解除**

書式	FS·V	
コード	10	28・86
	16	1C・56

漢字の半角文字間スペース量補正を解除します

本コマンドを実行すると、半角文字間スペース量補正を解除します。

**FS·W****漢字の4倍角設定／解除**

書式	FS·W·n	
コード	10	28・87
	16	1C・57

漢字の4倍角設定、解除を行います

本コマンドを実行すると、漢字の4倍角の設定、解除を行います。

nは設定、解除を示し、内容は次のとおりです。

n	内 容
0	4倍角解除
1	4倍角設定

<b>FS・k</b>	<b>漢字の書体選択</b>		
	書式	FS・k・n	
	コード	10	28・107
16		1C・6B	

**漢字の書体を選択します**

本コマンドを実行すると、漢字の書体を選択します。

nは書体の選択で、内容は次のとおりです。

n	内 容
0	明朝体選択
1	ゴシック体選択

電源を入れたときや、初期化を実行したときは、明朝体（n=0）です。

プリンタの機種によっては、使用できない書体があります。詳しくは、プリンタのマニュアルでご確認ください。

<b>FS・r</b>	<b>漢字の1/4角文字設定</b>		
	書式	FS・r・n	
	コード	10	28・114
16		1C・72	

**漢字の1/4角文字を設定します**

本コマンドを実行すると、漢字の1/4角文字を設定します。

nは上付き、下付きの設定で、内容は次のとおりです。

n	内 容
0	上付き1/4角文字設定
1	下付き1/4角文字設定

1/4角文字を設定しているとき、外字は左上の12×12ドットのみ印字されます。



**FS·x****漢字高速印字設定／解除**

書式	FS·x·n	
コード	10	28・120
	16	1C・78

**漢字高速印字の設定、解除を行います**

本コマンドを実行すると、漢字高速印字の設定、解除を行います。

nは設定／解除を示し、内容は次のとおりです。

n	内 容
0	漢字高速印字解除
1	漢字高速印字設定

## FS-2

## 漢字の外字定義

書式	FS-2・n1・n2・p1・p2 … p72	
コード	10	28・50
	16	1C・32

## 漢字の外字を登録します

本コマンドを実行すると、外字RAMへ文字パターンを転送します。  
範囲外のコードに登録した場合、動作の保証はできません。

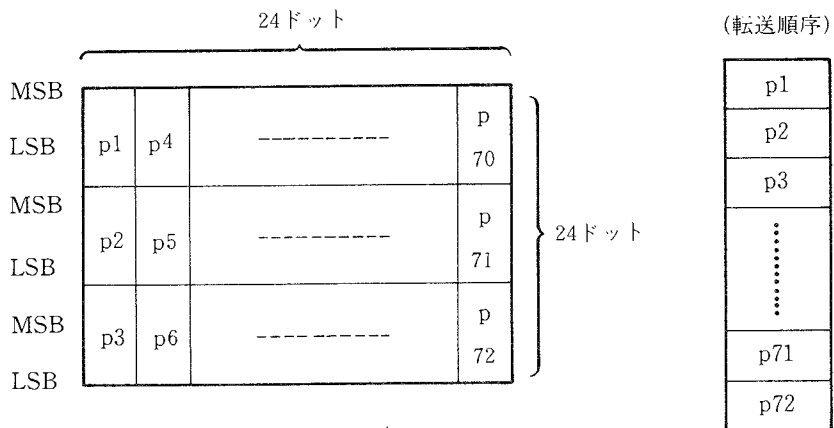
FS	2	n1	n2	p1	p2	……	p72
----	---	----	----	----	----	----	-----

n1 ; 登録する漢字コードの 1バイト 77H

n2 ; 登録する漢字コードの 2バイト 21H~7EH

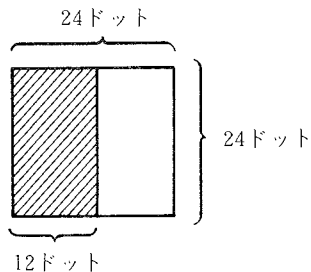
p1~p72 ; 文字パターン 0~FFH

文字パターンの転送順序は次のとおりです。

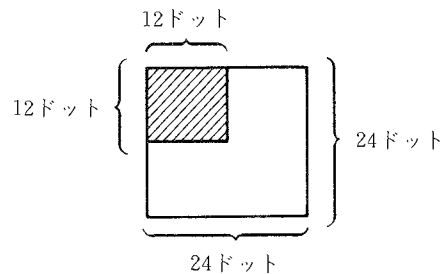


半角文字設定時または1/4角文字設定時には、次の斜線部分を印字します。

(半角文字設定時)



(1/4角文字設定時)



**HT****水平タブ実行**

書式	HT	
コード	10	09
	16	09

**次の水平タブ位置まで移動します**

現在位置よりも右側の水平タブ位置まで印字位置を移動します。  
本コマンドで移動した部分には、アンダーラインを印字しません。  
現在位置よりも右側に水平タブ位置がない場合は、本コマンドを無視します。

**LF****ラインフィード**

書式	LF
コード	10 10
	16 0A

**改行量に従い1行改行します**

印字バッファの印字データを印字し、改行量に従って1行改行します。  
次行の印字位置は左マージン位置からです。

**SI****ANK文字の縮小設定**

書式	SI	
コード	10	15
	16	0F

**ANK文字の縮小設定を行います**

本コマンドを実行すると、このあとのANK文字を縮小印字します。

10cpi時は17.1cpi、12cpi時は20cpi、プロポーショナル指定時は1/2の文字幅で印字します。

15cpi時では、本コマンドを無視します。

**SO****自動解除付き倍幅拡大設定**

書式	SO	
コード	10	14
	16	0E

**自動解除付き倍幅拡大設定を行います**

本コマンドを実行すると、このあとの文字（ANK文字、漢字）を倍幅拡大して印字します。

本コマンドは、次のコマンドの実行、または改行動作によって解除されます。

- ・自動解除付き倍幅拡大解除（DC4、FS・DC4）コマンド
- ・倍幅拡大解除（ESC・W・0）コマンド

## VT

## 垂直タブ実行

書式	VT	
コード	10	11
	16	0B

## 次の垂直タブ位置まで改行を行います

印字バッファの印字データを印字し、次の垂直タブ位置まで改行します。(VFUチャンネル選択 (ESC・/) の選択によります。)

次の印字位置は左マージン位置からです。

垂直タブ位置が設定されていないときは、改行 (LF) と同一動作を行います。

垂直タブ位置がクリアされているときは、復帰動作を行います。

現在位置がページ最後の垂直タブ位置を越えている場合は、次の印字開始位置まで改行します。



- Microsoft ® C professional development system (以下、MS-C) Version 6.0を使用したプログラム例です。MS-Cのバージョンによっては、手直しする必要があります。
- Microsoft ® MS-DOS ® Operating System (以下、MS-DOS)の入力待ち状態で、次のように入力し、プリンタ出力を英語モードにします。そのあとMS-Cを起動し、本プログラムを実行します。

MS-DOS3.2または、MS-DOS 5.0をご使用のとき

```
US ↵
```

MS-DOS 5.0/V または、MS-DOS 6.2/V をご使用のとき

```
SWITCH ↵
```

```
#include <stdio.h>
#include <dos.h>
```

```
#define ESC    0x1b
#define FS     0x1c
```

```
void pout(unsigned char);    /* プリンタへ1文字出力 */
```

```
main()
{
```

```
    int    i, j;
```

```
    pout(ESC); pout('@');          /* 初期化 */
    pout(ESC); pout('t'); pout(3); /* カタカナコード表選択 */
    pout(ESC); pout('3'); pout(18); /* 18/180インチ改行量指定 */
    pout(FS);  pout('S'); pout(3); pout(3); /* 全角文字スペース量設定 */
    pout(ESC); pout('M');          /* 12CPI指定 */
```

```
    keisen(1); pout(0x0d); pout(0x0a);
```

```
    pout(FS);  pout('&');          /* 漢字モード指定 */
    kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(1);
    kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(2);
    kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(3);
    kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(4);
    kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(5);
    kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(6);
```



```

pout(0x0d);
pout(FS); pout('.') ; /* 漢字モード解除 */

keisen(0); pout(0x0d); pout(0x0a);
keisen(2); pout(0x0d); pout(0x0a);

pout(FS); pout('&');
kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(8);

kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(0);
pout(FS); pout(0x0f); /* 漢字半角指定 */
kanji(8);
pout(FS); pout(0x12); /* 漢字半角解除 */

kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(0);
pout(ESC); pout('W'); pout(1); /* 倍幅拡大指定 */
kanji(8);
pout(ESC); pout('W'); pout(0); /* 倍幅拡大解除 */

kanji(0); kanji(0); kanji(0);
pout(ESC); pout('E'); /* 強調指定 */
kanji(8);
pout(ESC); pout('F'); /* 強調解除 */

kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(0);
pout(ESC); pout('q'); pout(1); /* 文字スタイル(袋文字) */
kanji(8);
kanji(0); kanji(0); kanji(0); kanji(0);
pout(ESC); pout('q'); pout(2); /* 文字スタイル(影付き文字) */
kanji(8);
pout(ESC); pout('q'); pout(0); /* 文字スタイル解除 */
pout(0x0d);
pout(FS); pout('.') ;

keisen(0); pout(0x0d); pout(0x0a);
keisen(0); pout(0x0d); pout(0x0a);
keisen(3); pout(0x0d); pout(0x0a);

pout(0x0d); pout(0x0a);
pout(0x0d); pout(0x0a);
pout(0x0d); pout(0x0a);

```

```

pout(FS); pout(' & ');
pout(0x0d); pout(0x0a);
for(i=0;i<15;i++) kanji(0);
kanji(7);
pout(0x0d); pout(0x0a);
pout(0x0d); pout(0x0a);

pout(FS); pout(' W '); pout(1); /* 4倍角指定 */
for(i=0;i<7;i++) kanji(0);
pout(FS); pout(' - '); pout(1); /* 漢字アンダーライン指定 */
kanji(8);
kanji(0);
pout(ESC); pout(' E '); /* 強調指定 */
kanji(8);
kanji(0);
pout(ESC); pout(' F '); /* 強調解除 */
pout(ESC); pout(' q '); pout(1); /* 文字スタイル(袋文字) */
kanji(8);
kanji(0);
pout(ESC); pout(' q '); pout(2); /* 文字スタイル(影付き文字) */
kanji(8);
pout(0x0d); pout(0x0a);
pout(ESC); pout(' q '); pout(0); /* 文字スタイル解除 */
pout(FS); pout(' W '); pout(0); /* 4倍角解除 */
pout(FS); pout(' - '); pout(0); /* 漢字アンダーライン解除 */
pout(ESC); pout(' 2 '); /* 1/6インチ改行量指定 */
pout(ESC); pout(' @ ');
}
keisen( m )
int m;
{
    int i, n1, n2, n3, n4;

    switch ( m ) {
        case 0 : n1=11; n2=11; n3=11; n4=12; break; /* 縦棒罫線 */
        case 1 : n1= 5; n2= 7; n3= 3; n4=10; break; /* 上段罫線 */
        case 2 : n1= 1; n2= 9; n3= 2; n4=10; break; /* 中段罫線 */
        case 3 : n1= 6; n2= 8; n3= 4; n4=10; break; /* 下段罫線 */
        default: return;
    }
}

```

```

    }
    ank(n1); for(i=0;i<11;i++) ank(n4);
    ank(n2); for(i=0;i<11;i++) ank(n4);
    ank(n2); for(i=0;i<11;i++) ank(n4);
    ank(n2); for(i=0;i<11;i++) ank(n4);
    ank(n2); for(i=0;i<11;i++) ank(n4);
    ank(n2); for(i=0;i<11;i++) ank(n4);
    ank(n2); for(i=0;i<11;i++) ank(n4);
    ank(n3);
}
ank( n )
int    n;
{
    switch ( n ) {
        case 1 : pout(0x93); break; /* 卜 */
        case 2 : pout(0x92); break; /* 丅 */
        case 3 : pout(0x99); break; /* 冂 */
        case 4 : pout(0x9b); break; /* 凵 */
        case 5 : pout(0x98); break; /* 凵 */
        case 6 : pout(0x9a); break; /* 凵 */
        case 7 : pout(0x91); break; /* 冂 */
        case 8 : pout(0x90); break; /* 丅 */
        case 9 : pout(0x8f); break; /* 十 */
        case 10 : pout(0x95); break; /* 一 */
        case 11 : pout(0x96); break; /* | */
        case 12 : pout(0x20); break; /* space */
        default: break;
    }
}
kanji( n )
int    n;
{
    switch ( n ) {
        case 0 : pout(0x21); pout(0x21); break; /* 全角スペース */
        case 1 : pout(0x41); pout(0x34);
                pout(0x33); pout(0x51); break; /* "全角" */
        case 2 : pout(0x48); pout(0x3e);
                pout(0x33); pout(0x51); break; /* "半角" */
        case 3 : pout(0x47); pout(0x5c);
                pout(0x49); pout(0x7d); break; /* "倍幅" */
        case 4 : pout(0x36); pout(0x2f);
                pout(0x44); pout(0x34); break; /* "強調" */
        case 5 : pout(0x42); pout(0x5e);
                pout(0x21); pout(0x21); break; /* "袋" */
    }
}

```

```

    case 6 : pout(0x31); pout(0x46);
              pout(0x49); pout(0x55); break; /* "影付" */
    case 7 : pout(0x23); pout(0x34);
              pout(0x47); pout(0x5c); break; /* "4倍" */
    case 8 : pout(0x44); pout(0x6d);
              pout(0x31); pout(0x60); break; /* "庭園" */
    default: break;
  }
}
void pout( code )
unsigned char  code;
{
    int  port_no;
    union REGS inregs, outregs;

    port_no = 0;
    inregs.h.ah = 0x00;
    inregs.h.al = code;
    inregs.x.dx = port_no;

    int86( 0x17, &inregs, &outregs );
}

```

全角	半角	倍幅	強調	袋	影付
庭園	庭園	庭園	庭園	庭園	庭園

4 倍  
 庭園 庭園 庭園 庭園

# 付録 B

# ANK文字コード表

(1)カタカナコード表

16進	2進	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
16進	2進	0000	0001	0010	0011	0100	0101	0110	0111	1000	1001	1010	1011	1100	1101	1110	1111	
0	0000	NULL	SP	0	@	P	`	p	┌	┐	└	┘	─	タ	ミ	ニ	×	
1	0001	DC1	!	1	A	Q	a	q	┌	┐	└	┘	─	ア	チ	ム	ト	
2	0010	DC2	"	2	B	R	b	r	┌	┐	└	┘	─	イ	ツ	メ	キ	
3	0011	DC3	#	3	C	S	c	s	┌	┐	└	┘	─	ウ	テ	モ	コ	
4	0100	DC4	\$	4	D	T	d	t	┌	┐	└	┘	─	エ	ト	ヤ	日	
5	0101	%	5	E	U	e	u	┌	┐	└	┘	─	オ	ナ	ユ	ク	時	
6	0110	&	6	F	V	f	v	┌	┐	└	┘	─	カ	ニ	ヨ	分	分	
7	0111	BEL	'	7	G	W	g	w	┌	┐	└	┘	─	ア	キ	ヌ	秒	
8	1000	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	┌	┐	└	┘	─	イ	ク	ネ	
9	1001	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	┌	┐	└	┘	─	ウ	ケ	ル	
A	1010	LF	*	:	J	Z	j	z	┌	┐	└	┘	─	エ	コ	ハ	レ	
B	1011	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	┌	┐	└	┘	─	オ	サ	ヒ	
C	1100	FF	FS	<	L	¥	l	!	┌	┐	└	┘	─	ヤ	シ	フ	ワ	
D	1101	CR	-	=	M	]	m	}	┌	┐	└	┘	─	ユ	ス	ヘ	ン	
E	1110	SO	.	>	N	^	n	~	┌	┐	└	┘	─	ヨ	セ	ホ	"	
F	1111	SI	/	?	O	_	o	DEL	+	┌	┐	└	┘	─	ツ	ソ	マ	
																		NULL

(2)拡張グラフィックスコード表

16進	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
16進	2進	0000	0001	0010	0011	0100	0101	0110	0111	1000	1001	1010	1011	1100	1101	1110	1111
0	0000	NULL	SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á	⋮	L	⌌	α	≡	
1	0001	DC 1	!	1	À	Q	a	q	ü	æ	í	⋮	⌌	⌌	β	±	
2	0010	DC 2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	⋮	⌌	⌌	Γ	≥	
3	0011	DC 3	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	⋮	⌌	⌌	π	≤	
4	0100	DC 4	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	⋮	⌌	⌌	Σ	∫	
5	0101		%	5	E	U	e	u	à	ò	ñ	⋮	⌌	⌌	o	j	
6	0110		&	6	F	V	f	v	á	û	a	⋮	⌌	⌌	μ	÷	
7	0111	BEL	'	7	G	W	g	w	ç	ù	ó	⋮	⌌	⌌	τ	≈	
8	1000	BS CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	ÿ	⋮	⌌	⌌	φ	°	
9	1001	HT EM	)	9	I	Y	i	y	ë	ö	⌌	⋮	⌌	⌌	θ	•	
A	1010	LF	*	:	J	Z	j	z	è	ù	⌌	⋮	⌌	⌌	Ω	·	
B	1011	VT ESC	+	;	K	[	k	{	ì	ç	½	⋮	⌌	⌌	δ	√	
C	1100	FF FS	,	<	L	¥	l	!	î	£	¼	⋮	⌌	⌌	∞	ⁿ	
D	1101	CR	-	=	M	l	m	}	ï	¥	ï	⋮	⌌	⌌	∅	²	
E	1110	SO	.	>	N	^	n	~	Ä	R	«	⋮	⌌	⌌	€	■	
F	1111	SI	/	?	O	_	o	DEL	Å	f	»	⋮	⌌	⌌	∅	SP	

## 付 録 C

## プロポーショナルスペース量

コードの欄に2つのコードが記載されている場合、右側のコードは拡張グラフィックが選択されているときのみ有効です。また、\*マークはANK文字の国際文字選択 (ESC・R) の文字セットによってコードが異なりますので、詳細は、コントロールコードの説明をご覧ください。

文字	コード (16進)	サイズ (ドット)	
		通常	スーパー/ サブスクリプト
	20	30	20
!	21	18	12
"	22	30	20
#	23	30	20
\$	24	30	20
%	25	36	24
&	26	36	24
'	27	18	12
(	28	24	16
)	29	24	16
*	2A	30	20
+	2B	30	20
,	2C	18	12
-	2D	30	20
.	2E	18	12
/	2F	30	20
0	30	30	20
1	31	30	20
2	32	30	20
3	33	30	20
4	34	30	20
5	35	30	20
6	36	30	20
7	37	30	20
8	38	30	20

文字	コード (16進)	サイズ (ドット)	
		通常	スーパー/ サブスクリプト
9	39	30	20
:	3A	18	12
;	3B	18	12
<	3C	30	20
=	3D	30	20
>	3E	30	20
?	3F	30	20
@	40	36	24
A	41	36	24
B	42	36	24
C	43	36	24
D	44	36	24
E	45	36	24
F	46	36	24
G	47	36	24
H	48	36	24
I	49	24	16
J	4A	30	20
K	4B	36	24
L	4C	36	24
M	4D	42	28
N	4E	36	24
O	4F	36	24
P	50	36	24
Q	51	36	24

文字	コード (16進)	サイズ (ドット)	
		通常	ス-ハ°-/ サ° スクリプト
R	52	36	24
S	53	36	24
T	54	36	24
U	55	42	28
V	56	36	24
W	57	42	28
X	58	36	24
Y	59	36	24
Z	5A	30	20
[	5B	24	16
¥	5C/9D	36	24
]	5D	24	16
^	5E	30	20
_	5F	30	20
`	60	18	12
a	61	30	20
b	62	36	24
c	63	30	20
d	64	36	24
e	65	30	20
f	66	24	16
g	67	36	24
h	68	36	24
i	69	18	12
j	6A	24	16
k	6B	36	24
l	6C	18	12
m	6D	42	28
n	6E	36	24
o	6F	30	20
p	70	36	24

文字	コード (16進)	サイズ (ドット)	
		通常	ス-ハ°-/ サ° スクリプト
q	71	36	24
r	72	30	20
s	73	30	20
t	74	24	16
u	75	36	24
v	76	36	24
w	77	42	28
x	78	30	20
y	79	36	24
z	7A	30	20
{	7B	24	16
!	7C	18	12
}	7D	24	16
~	7E	30	20
ç	-/80	36	24
ü	*/81	36	24
é	*/82	30	20
â	-/83	30	20
ä	*/84	30	20
à	*/85	30	20
á	*/86	30	20
ç	*/87	30	20
ê	-/88	30	20
è	-/89	30	20
è	*/8A	30	20
ï	-/8B	18	12
î	-/8C	18	12
ì	*/8D	18	12
À	*/8E	36	24
Á	*/8F	36	24
É	*/90	36	24



文字	コード (16進)	サイズ (ドット)	
		通常	スーパー/ サブスクリプト
æ	* /91	42	28
Æ	* /92	42	28
ô	- /93	30	20
ö	* /94	30	20
ò	* /95	30	20
û	- /96	36	24
ù	* /97	36	24
ÿ	- /98	36	24
ö	* /99	36	24
ù	* /9A	42	28
ç	- /9B	30	20
£	* /9C	30	20
ℜ	* /9E	42	28
f	- /9F	30	20
á	* /A0	30	20
í	* /A1	18	12
ó	* /A2	30	20
ú	* /A3	36	24
ñ	* /A4	36	24
Ñ	* /A5	36	24
à	- /A6	30	20
ø	- /A7	30	20
¿	* /A8	30	20
¡	- /A9	30	20
¬	- /AA	30	20
½	- /AB	30	20
¼	- /AC	30	20
†	* /AD	30	20
«	- /AE	30	20
»	- /AF	30	20
⋮	- /B0	30	-

文字	コード (16進)	サイズ (ドット)	
		通常	スーパー/ サブスクリプト
⋮	- /B1	30	-
⋮	- /B2	30	-
	- /B3	30	-
†	- /B4	30	-
†	- /B5	30	-
†	- /B6	30	-
†	- /B7	30	-
†	- /B8	30	-
†	- /B9	30	-
†	- /BA	30	-
†	- /BB	30	-
‡	- /BC	30	-
‡	- /BD	30	-
‡	- /BE	30	-
†	- /BF	30	-
†	- /C0	30	-
†	- /C1	30	-
†	- /C2	30	-
†	- /C3	30	-
-	- /C4	30	-
†	- /C5	30	-
†	- /C6	30	-
†	- /C7	30	-
†	- /C8	30	-
†	- /C9	30	-
†	- /CA	30	-
†	- /CB	30	-
†	- /CC	30	-
=	- /CD	30	-
†	- /CE	30	-
†	- /CF	30	-

文字	コード (16進)	サイズ (ドット)	
		通常	ス-ハ <sup>*</sup> -/ サブ <sup>*</sup> スクリプト
⌘	-/D0	30	-
⌘	-/D1	30	-
⌘	-/D2	30	-
⌘	-/D3	30	-
⌘	-/D4	30	-
⌘	-/D5	30	-
⌘	-/D6	30	-
⌘	-/D7	30	-
⌘	-/D8	30	-
⌘	-/D9	30	-
⌘	-/DA	30	-
■	-/DB	30	-
■	-/DC	30	-
■	-/DD	30	-
■	-/DE	30	-
■	-/DF	30	-
α	-/E0	30	20
β	-/E1	30	20
Γ	-/E2	30	20
π	-/E3	30	20
Σ	-/E4	30	20
σ	-/E5	30	20
μ	-/E6	30	20
τ	-/E7	30	20
ϕ	-/E8	30	20
θ	-/E9	30	20
Ω	-/EA	30	20
δ	-/EB	30	20
∞	-/EC	30	20
∅	-/ED	30	20
€	-/EE	30	20

文字	コード (16進)	サイズ (ドット)	
		通常	ス-ハ <sup>*</sup> -/ サブ <sup>*</sup> スクリプト
∩	-/EF	30	20
≡	-/F0	30	-
±	-/F1	30	-
≥	-/F2	30	-
≤	-/F3	30	-
∫	-/F4	30	-
∫	-/F5	30	-
÷	-/F6	30	-
≈	-/F7	30	-
°	-/F8	30	-
•	-/F9	30	-
•	-/FA	30	-
√	-/FB	30	-
∞	-/FC	30	-
²	-/FD	30	-
■	-/FE	30	-
◦	*/-	24	16
∩	*/-	30	20
∩	*/-	36	24
∅	*/-	36	24
∅	*/-	30	20
∞	*/-	30	20
∞	*/-	30	20
∞	*/-	30	20
∞	*/-	30	20
∞	*/-	30	20

## ・あ行

**イメージ印字** Image印字 図形や表を印字する方法で、プリンタに対してドット列単位のデータ（イメージデータ）を送ります。  
（「ESC・\*」参照）

**印字開始位置** 帳票の第一行目、単票の印字開始位置のことをいいます。

## ・か行

**外字** プリンタ個有の文字（ANK、漢字等）ではなく、ユーザやアプリケーションが任意に登録できる文字をいいます。（「FS・2」参照）

**キャラクタコード** Character Code 文字に割り当てられたコード（文字コード）のことをいいます。

## ・さ行

**サブスクリプト** Sub Script 1/4角文字を通常文字の下位に印字することをいいます。（「ESC・S」参照）

**スーパースクリプト** Super Script 1/4角文字を通常文字の上位に印字することをいいます。（「ESC・S」参照）

**水平、垂直タブ** Horizontal Vertical Tabulation タブが設定されている位置まで印字位置を進めることができるので表などを作成する場合に利用できます。

横方向のタブを水平タブ、縦方向のタブを垂直タブといい、それぞれHT、VTにより実行することができます。

## ・ら行

**ライトマージン** Right Margin ライトマージンとは行の印字終了位置のことで、ライトマージンが設定されている位置より右側には印字を行うことはできません。（「ESC・Q」参照）

**レフトマージン** Left Margin レフトマージンとは行の印字開始位置のことで、レフトマージンが設定されている位置より印字を開始します。  
（「ESC・I」参照）

・ A ~ Z

---

ANK CG	Alphabet Numelic Kana Character Generator ANK文字の文字パターンをいいます。
ASF	Auto Sheet Feeder (オート シート フィーダ) 自動的に単票を給紙、排紙する装置のことです。
ASF自動給紙モード	ASF装着時、コントロールコマンドにより、給紙、排紙を行うモードのことをいいます。
ASF手差しモード	ASF装着時、ユーザが操作パネルのスイッチを操作することにより給紙、排紙を行うモードのことをいいます。
BS	Back Space (バックスペース) 印字位置を1文字分前へ戻す機能のことをいいます。(「BS」参照)
CR	Carriage Return (キャリッジリターン) 印字開始命令およびヘッドを復帰させる機能のことをいいます。(「CR」参照)
ESC	Escape コード1BHまたは27D 一部のコントロールコマンドの先頭コードを示します。
FF	Form Feed (フォームフィード) 設定されたページ長により次のページの第一行目まで紙送りをすることをいいます。(「FF」参照)
FS	コード1CHまたは28D 漢字指定コマンドの先頭コードを示します。
LF	Line Feed (ラインフィード) データ印字後、ヘッドを復帰させて改行する機能のことをいいます。(「LF」参照)
LSB	Least Significant Bit 最下位ビットのことをいいます。
MSB	Most Significant Bit 最上位のビットのことをいいます。
null	文字コードがゼロのキャラクタで、プリンタは、このコードを受信しても、何の動作も行いません。
PE	Paper End (ペーパーエンド) の略。用紙切れの状態です。

## 印字を開始するコマンド

キャリッジリターン	(CR)	9
フォームフィード	(FF)	47
ラインフィード	(LF)	61
n/180インチ順方向紙送り	(ESC·J)	26

## 英数カナ文字をデザインするコマンド

一括設定	(ESC·!)	13
自動解除付き倍幅拡大設定	(SO)	62
自動解除付き倍幅拡大解除	(DC4)	11
ダウンロード文字セットの設定/解除	(ESC·%)	14
ダウンロード文字定義	(ESC·&)	15
文字セットコピー	(ESC·:)	18
ANK文字のアンダーライン設定/解除	(ESC·-)	17
ANK文字の国際文字選択	(ESC·R)	30
ANK文字の縮小解除	(DC2)	10
ANK文字の縮小設定	(SI)	62
ANK文字の書体選択	(ESC·k)	39
ANK文字のスーパー/サブスクリプト解除	(ESC·T)	33
ANK文字のスーパー/サブスクリプト設定	(ESC·S)	31
ANK文字のプロポーショナル設定/解除	(ECC·p)	40
ANK文字の縦倍拡大設定/解除	(ESC·w)	43
ANK文字の文字コード表選択	(ESC·t)	42
ANK文字の文字品位選択	(ESC·x)	43
ANK文字の10cpi設定	(ESC·P)	29
ANK文字の12cpi設定	(ESC·M)	27
ANK文字の15cpi設定	(ESC·g)	39

## 漢字をデザインするコマンド

漢字アンダーライン設定/解除	(FS·-)	49
漢字一括設定	(FS·!)	48
漢字の外字定義	(FS·2)	59
漢字の書体選択	(FS·k)	57
漢字の全角文字スペース量設定	(FS·S)	53
漢字の縦書き設定	(FS·J)	52

漢字の半角文字解除	(FS·DC2)	51
漢字の半角文字スペース量設定	(FS·T)	55
漢字の半角文字スペース量補正	(FS·U)	55
漢字の半角文字スペース量補正解除	(FS·V)	56
漢字の半角文字設定	(FS·SI)	54
漢字の横書き設定	(FS·K)	53
漢字の1/4角文字設定	(FS·r)	57
漢字の4倍角設定/解除	(FS·W)	56
漢字モード解除	(FS·.)	50
漢字モード設定	(FS·&)	49
自動解除付き倍幅拡大解除	(FS·DC4)	51
自動解除付き倍幅拡大設定	(FS·SO)	54
半角縦書き2文字設定	(FS·D)	50

### 書式を設定/指定するコマンド

位置ぞろえ選択	(ESC·a)	37
インチ単位ページ長設定	(ESC·C·null)	22
行単位ページ長設定	(ESC·C)	22
垂直タブ位置設定	(ESC·B)	21
垂直タブ実行	(VT)	63
水平タブ位置設定	(ESC·D)	23
水平タブ実行	(HT)	60
絶対位置指定	(ESC·\$)	14
相対位置指定	(ESC·¥)	36
バックスペース	(BS)	8
左マージン設定	(ESC·I)	40
右マージン設定	(ESC·Q)	30
ミシン目スキップ解除	(ESC·O)	29
ミシン目スキップ設定	(ESC·N)	28
1/6インチ改行量設定	(ESC·2)	44
1/8インチ改行量設定	(ESC·0)	44
n/60インチ改行量設定	(ESC·A)	20
n/180インチ改行量設定	(ESC·3)	45
ANK文字の間スペース量設定	(ESC·SP)	33

### ビットイメージを設定するコマンド

ビットイメージ選択	(ESC·*)	16
8ドット単密度ビットイメージ	(ESC·K)	26
8ドット倍密度ビットイメージ	(ESC·L)	27

8ドット倍速倍密度ビットイメージ	(ESC・Y)	35
8ドット4倍密度ビットイメージ	(ESC・Z)	35

### 補助機能コマンド

オートシードフィード制御	(ESC・EM)	24
片方向印字設定／解除	(ESC・U)	34
漢字高速印字設定／解除	(FS・x)	58
初期化	(ESC・@)	20
ブザー	(BEL)	8

### 文字をデザインする共通のコマンド

イタリック解除	(ESC・5)	46
イタリック設定	(ESC・4)	45
強調解除	(ESC・F)	24
強調設定	(ESC・E)	23
二重印字解除	(ESC・H)	25
二重印字設定	(ESC・G)	25
倍幅拡大設定／解除	(ESC・W)	34
文字スタイル選択	(ESC・q)	42

### その他のコマンド

1文字削除	(DEL)	12
カラー選択	(ESC・r)	41
キャンセル	(CAN)	9
自動解除付き倍幅拡大設定	(ESC・SO)	32
デバイスコントロール1 (受信データ有効)	(DC1)	10
デバイスコントロール3 (DC1以外受信データの無効)	(DC3)	11
ビットイメージ変換	(ESC・?)	19
リターンホーム	(ESC・<)	18
ANK文字の縮小設定	(ESC・SI)	32
VFUタブ位置設定	(ESC・b)	38
VFUチャンネル選択	(ESC・/)	17

# HITACHI

株式会社 日立製作所  
情報・通信システム社 ITプラットフォーム事業本部

〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下1 番地

コマンドリファレンス-002